

令和4年度 師岡小学校「交通バリアフリー教室」の実施報告

1 交通バリアフリー教室の全体概要

- 横浜市都市整備局では、福祉の視点からバスへの関心を啓発し、利用を促進するため「交通バリアフリー教室」を行っています。師岡小学校では、神奈川運輸支局、神奈川県タクシー協会、平和交通株式会社と連携して実施しました。
- 普段は高学年を対象とした出前授業を行っていますが師岡小学校 50 周年記念の特別授業ということもあり、今回は低学年向けに授業内容を変更して実施しました。

■交通バリアフリー教室について
【日時】 令和5年1月20日（金）
1～4校時 9：00～11：40
【対象】 横浜市立師岡小学校
1年生 221名
2年生 203名
【内容】

- ① バスやタクシーのバリアフリーやユニバーサルデザインに関する座学
- ② 車いすの乗り方について
→各学年2回に分けて実施

2 「バスやタクシーのバリアフリーやユニバーサルデザインに関する座学」の内容

- 座学では、パワーポイントを活用し、「誰もが同じように使えるようにバリアをなくした」のバリアフリーについてや、年齢や障害等の有無に関わらず、「すべての人のためのデザイン」であるユニバーサルデザインについて低学年にでも伝わるように説明しました。
- 低学年ではまだ一人でバスを利用することは多くないと思いますが、今後バスを利用することを想定してバスの乗り方について説明し、バスやタクシーといった公共交通機関をより身近に感じてもらえるような内容にしました。

■講話に用いた説明用パワーポイント



■座学の授業風景



■授業の様子



3 交通バリアフリー教室を終えて

- 授業の中で、身近にあるバリアフリーやユニバーサルデザインを例で挙げたことによって理解しやすい内容になり、興味を持ってもらうことができました。質問の際にも、「バスやタクシー以外の乗り物にも車いすの人が乗れるような仕組みはありますか？」などといった質問がありました。
- 車いす体験を全員の方にさせていただくことは出来ませんが、UD タクシーの紹介や車いすでの乗り方の説明を聞いて福祉について考えるきっかけになったと思います。
- 開催にあたり、師岡小学校のPTAの保護者のみなさまよりご協力を頂きました。ありがとうございました。